いいまちづくり観音寺輝き隊通信

令和六年十二月一日発行
文責：大西
編集：白川

【琴弾公園ヒストリー55】

《中内蝶二》その2

明治35年 中内蝶二が27歳の時に観音寺に住む叔父を訪ね『琴弾山と有明浜』という文章を書いています。

〈山頂からの銭形砂絵の記述〉

「…一帯の眞砂地 麓に続くところ、深く堀りて一個の銭を描く。直径一町ばかり、中に『寛永通寶』の四字は読まれたり。いつの頃より描きそめられたりとも定かならねど、風雨共に其形を崩さず。折しも運動会にとて浜辺に出でたる数多の小学生徒、その銭形の内環外環の溝の中を互に競い走れるさま、また是れ他に類なき奇観なりけり。」

中内蝶二は高知県で生まれ風光明媚な桂浜で育ちました。海を愛し桂浜を讃えた作品を残しています。東京帝国大学の卒業時に、恩賜の時計を贈られたほどの秀才でした。劇作家として活躍し、戯曲「大尉の娘」は代表作となり大正12年に初代水谷八重子が演じ話題となりました。昭和12年に61歳で永眠しました。

大正末期の銭形砂絵

《大尉の娘》より

◇◆公園清掃日について◆◇

今月の清掃日は **12月2日です。**

午前八時～九時（雨天：12月9日）

琴弾公園の池付近に集合

みんなでいい汗を流しましょう。

※問い合わせ080-3211-1962

ご報告

琴弾山 高灯籠の点灯は、11月2日は天候不良で中止。3日に美しくライトアップできました。

◆いいまちづくり観音寺輝き隊◆

私たちは「琴弾公園の魅力を高めること」を主な目的にしている小さな団体です。歴史的なものを見直し郷土愛を高め、まちを、もっと元気にしようと頑張っています。

【琴弾公園クイズ68】

琴弾公園内、琴弾山には公園開園当時、山一面がある樹木で覆われていました。それは、次のどれでしょうか？

①ハイマツ　②ゴヨウマツ

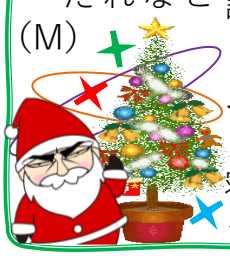
③コカサマツ

寛雑談■永

先日「大人が絵本を楽しむ会」という、とても魅力的な会に参加させていただきました。

そこで「こどものころに父が『天井から長～い長～いふんどしがおりてきました』というお話をしてくれた」という思い出を語られる方があり、「私も同じ話を聞いた！」という記憶が亡父の顔とともに突然蘇って涙が出そうになりました。それにしても全く離れた場所で育ったのに、なぜ同じ話を？と、とても不思議なご縁を感じたのですが帰宅後調べてみると、眠りに入りやすい単調で退屈なお話として、寝る前にこのお話を聞いたという人は複数いるようなのです。同じ経験をされた方、ぜひご連絡をくださいね。

（M）



『輝き隊通信バックナンバー』と検索または下のQRコードからこの通信のバックナンバーを見ることができます。また観音寺市のホームページからも輝き隊通信は閲覧できます。

https://kagayakitai.amebaownd.com/